

SHOP REPORT

from IYASAKA

Vol. 1



THIS TIME SHOP



株式会社 車検・钣金デポ (オートバックスグループ)

千葉県浦安市鉄鋼通り 3-1-6

株式会社車検・钣金デポ様はオートバックスグループのフラッグシップ工場として、整備をはじめ車検に加え、钣金・塗装から、オートバックスグループ内での人材育成を行う、技術センターとしての役割を担う企業です。2017年に浦安市の鉄鋼通りに本社を移転しました。また、道路運送車両法改正直後2020年に特定整備認証（電子）を取得されています。

今やグループの車検台数でも年間 65.1 万台（2021年3月末現在）の車検を実施するとともに、様々なチャンネルのクルマ販売を積極的に推進するオートバックス様はカー用品店のトップ企業という肩書に留まらず、クルマのトータルショップとしての地位を着実に確かなものへと変容させてきました。その技術的な先導役を担ってきたのが、同社のグループ企業である“車検・钣金デポ”様です。

POINT 1 技術進化に対応する最新の整備機器、ツール、技術、ノウハウを随時更新し、電子制御装置装備に対応

株式会社車検・钣金デポ様はその名称が示す通り、車検と钣金・塗装を事業の中核に捉えていますが、近年は進化の著しい電子制御装置整備に力を注いでいます。特定整備認証（電子）をいち早く取得し、国内外の様々なエーミングツールを導入、いかに早く作業をセッティングし、いかに適切に正しくセンシングデバイスのキャリブレーションを実施することで、いかに適切な利益を出していくかというテーマと向き合い、クルマメーカー毎に異なる作業の適正化に注力しています。その取り組みはさながら研究室のようです。国産はもちろん、輸入車メーカーの純正スキャンツールを取り揃え、エーミングターゲット、汎用スキャンツールにサポートツールなどを網羅、またクルマについても在庫車両のみの対応ではなく、実車を購入して技術の習得・習熟を実践しています。また、エーミング作業だけに留まらず、ガラス交換作業にも対応しており、全てワンストップで修理を完了させる体制を整えています。



エーミング作業の専用スペース、「キャリブレーションエリア」。エーミング準備をスピーディに行うため、あらかじめ実線が引かれています。



国産・輸入車問わず純正スキャンツールを保有し、汎用スキャンツールも網羅。



エーミング用スタンドセットのターゲットボード。オートバックスグループのみ購入可能です。

POINT 2

高度な整備に対応する最新機器を取り揃え、ワンストップの整備を実現。OBD 検査も視野に

エーミング作業を適正に実施する条件のひとつに、四輪、ボディのそれぞれのアライメントが正常であることが挙げられます。ただし、これら両者のテスターを保有する事業者はそれほど多くはありません。(株)車検・钣金デポ様ではハンターの HawkEye Elite、ボディアライナーはカートロニック Vision を導入されています。エーミング入庫のクルマには、四輪、ボディの両アライメントの受け入れ診断を実施し、精度の高いエーミングを実践されています。VW (フォルクスワーゲン) のエーミングにおいては四輪アライメントの診断を経なければ次のステップに進むことはできません。あらゆるメーカーのクルマが入庫される同社において品質の高いエーミング作業は四輪とボディのアライメントテスターによって支えられているといえます。整備のトータル的な作業がワンストップによって提供できる体制は3年後にスタートする OBD 検査においても極めて有効に対応できると考えられます。



2020年にツインコンビ、カロライナ、ハンター全て同時に設備しました。



550坪の面積を誇る本社工場に車検、板金・塗装、ガラス交換、エーミングをオールインワン。



カートロニック Vision2。

POINT 3

前後同調式モーター付き検査ラインを民間車検工場として初導入。効率を高め、生産性も高めた至極の車検



最新の IDIS α と前後同調式モーター付きの検査ライン、まさにハイエンドの検査ラインを導入。

オートボックス様の車検台数は年間約 65.1 万台にまで増加しました。同社の早技 60 分車検がお客様に支持された理由のひとつが早くて安心なコストパフォーマンス性です。(株)車検・钣金デポ様が 1 年前に導入された前後同調式モーター付きのツインコンビテスタは、そのハイパフォーマンスな早技車検を具現化する検査ラインであり、民間車検工場として初導入となりました。検査の際、わざわざ整備モードにしなくても前後輪を同調モーターによって同じ時速で回転させることでスピードの検査が実施できます。小型モーターを用いるためベルト同調式に比べ、埋設が浅く済み、工事費の低コスト化に寄与します。

POINT 4

あらゆるクルマの入庫を想定した BP の体制は最新設備による技術の研鑽に支えられています

(株)車検・钣金デポ様ではレクサスや輸入車の入庫も多いことから、BP 部門でも様々なニーズに対応するため、設備投資には余念がありません。先述したとおり、各アライメントテスターに加え、フレーム修正機はベンチ式のカロライナが導入されています。アルミ钣金を想定して、接着による引き出しシステムも設備。一方、塗装部門では水性塗料を導入していることから、水性対応の塗装ブースが 2 基設備され、環境保全と生産効率を両立しています。



フレーム修正機はカロライナのベンチラック。あらゆるクルマメーカーに対応できる設備と技術を備えることに注力しています。

